

## ■ 咸臨丸の歴史年表

和暦	西暦	出来事<赤字は、咸臨丸関連>
<b>嘉永6年</b>		
4月19日	1853/_5/26(木)	・ アメリカ東インド艦隊 琉球到着
5月_8日	1853/_6/14(火)	・ アメリカ東インド艦隊 小笠原諸島到着
5月26日	1853/_7/_2(土)	・ アメリカ東インド艦隊 琉球出発
6月_3日	1853/_7/_8(金)	・ アメリカ東インド艦隊 浦賀沖到着／ペリー来航
6月12日	1853/_7/17(日)	・ アメリカ東インド艦隊 江戸湾を去る
6月22日	1853/_7/27(水)	・ 将軍 家慶 死去
7月18日	1853/_8/22(月)	・ ロシア極東艦隊 長崎来航
9月 [1853/10/3~10/31]		・ 大船建造禁止令解除、オランダへ帆船軍艦発注
10月23日	1853/11/23(水)	・ 徳川家定に将軍就任
11月_7日	1853/12/_7(水)	・ 幕府 中濱万次郎を登用

## 嘉永7年

1月16日	1854/_2/13(月)	・ アメリカ東インド艦隊／ペリー 再来
3月_3日	1854/_3/31(金)	・ 日米和親条約(神奈川条約)調印
3月27日	1854/_4/24(月)	・ 吉田松陰・金子重之助密航失敗

4月_5日	1854/_5/_1(月)	・ 佐久間象山逮捕
4月_6日	1854/_5/_2(火)	・ 京都御所出火
5月25日	1854/_6/20(火)	・ 幕府 下田条約に調印
閏7月15日	1854/_9/_7(木)	・ 英国東インド艦隊 長崎来航
8月23日	1854/10/14(土)	・ 幕府(日)英和親条約に調印
11月_4日	1854/12/23(土)	・ 下田大地震／ディアナ号被災

---

## 安政元年

11月27日	1855/_1/15(月)	・ 改元
12月21日	1855/_2/_7(水)	・ 幕府(日)露和親条約に調印

---

## 安政2年

3月_9日	1855/_4/25(水)	・ 福澤諭吉 適塾に入門
6月 [1855/7/14~8/12]		・ オランダ国王がスンピン号を幕府に献呈⇒観光丸
7月 [1855/8/13~9/10]		・ 長崎海軍伝習所を設置
9月_3日	1855/10/13(土)	・ 昌平丸にて長崎海軍伝習所一期生品川出発
10月_9日	1855/11/18(日)	・ 堀田正隆 首席老中に就任
10月20日	1855/11/29(木)	・ 昌平丸、長崎着
10月22日	1855/12/_1(土)	・ 長崎海軍伝習所、出島のオランダ館にて開所式／教師団長＝ペルス・ライケン
10月24日	1855/12/_3(月)	・ 海軍伝習開始、長崎奉行所内
12月23日	1856/_1/30(水)	・ 幕府(日)蘭和親条約に調印

---

## 安政3年

- |       |               |                 |
|-------|---------------|-----------------|
| 7月21日 | 1856/_8/21(木) | ・ 米総領事ハリス 下田に到着 |
| 9月10日 | 1856/10/_8(水) | ・ アロー号事件発生      |
- 

## 安政4年

- |        |               |                            |
|--------|---------------|----------------------------|
| 3月_1日  | 1857/_3/26(木) | ・ ヤパン号、ヘルフットフラウス出港         |
|        |               | ・ 長崎海軍伝習所、一期生修了            |
| 3月_4日  | 1857/_3/29(月) | ・ 長崎海軍伝習所一期生、観光丸にて江戸へ出発    |
| 3月26日  | 1857/_4/20(月) | ・ 観光丸、上関・御手洗・鳥羽経由で品川沖着     |
| 4月11日  | 1857/_5/_4(月) | ・ 築地講武所内に軍艦操練所を設置          |
| 5月_8日  | 1857/_5/30(土) | ・ 長崎海軍伝習所一期生、軍艦操練所教授方などへ任命 |
| 6月16日  | 1857/_8/_5(水) | ・ 阿部正弘死去                   |
| 8月_5日  | 1857/_9/22(火) | ・ ヤパン号長崎港外停泊地に投錨。          |
| 12月11日 | 1858/_1/25(月) | ・ 幕府、ハリスと日米通商条約の交渉を開始      |
| 12月23日 | 1858/_2/_6(土) | ・ 日本側、ワシントンでの批准書交換を提案      |
-

## 安政5年

1月_8日	1858/_2/21(日)	・ 堀田正隆、条約勅許の為上京
1月21日	1858/_3/_6(土)	・ ハリス一行、観光丸と君沢形に分乗し、江戸から下田へ向かう
2月16日	1858/_3/30(火)	・ 咸臨丸長崎出港、五島・対馬を巡航(5日間)
2月20日	1858/_4/_3(土)	・ 長崎帰港
3月_8日	1858/_4/21(水)	・ 咸臨丸長崎出港、平戸・下関・鹿児島・天草を巡航(13日間)
3月20日	1858/_5/_3(月)	・ 長崎帰港
4月20日	1858/_6/_1(火)	・ 堀田正隆、下京
4月23日	1858/_6/_4(金)	・ 井伊直弼、大老に任命
4月26日	1858/_6/_7(月)	・ 咸臨丸長崎出港、鵬翔丸と共に天草巡航(9日間)
5月_5日	1858/_6/15(火)	・ 長崎帰港
5月_6日	1858/_6/16(水)	・ ハリス、君沢形で江戸から下田へ戻る
5月_7日	1858/_6/17(木)	・ 神田お玉が池に種痘所開設
5月11日	1858/_6/21(月)	・ 咸臨丸長崎出港、鵬翔丸見送り目的で山川へ向かい、 鵬翔丸と分かれてから鹿児島訪問
5月20日	1858/_6/30(水)	・ 長崎帰港
6月19日	1858/_7/29(木)	・ 観光丸、外国奉行井上信濃守らを江戸から神奈川へ 幕府、ポーハタン艦上にて日米修好通商条約締結
6月21日	1858/_7/31(土)	・ 堀田正隆、松平忠固 免職
6月25日	1858/_8/_4(水)	・ 徳川慶福を将軍後継と発表
7月_4日	1858/_8/12(木)	・ 徳川家定死去

7月_5日	1858/_8/13(金)	・ 一橋慶喜ら登城禁止処分
7月_8日	1858/_8/16(月)	・ 幕府、外国奉行設置
7月10日	1858/_8/19(木)	・ 幕府、日蘭修好通商条約に調印
7月11日	1858/_8/20(金)	・ 幕府、日露修好通商条約に調印
7月16日	1858/_8/24(火)	・ 島津斉彬死去
7月18日	1858/_8/26(木)	・ 幕府、日英修好通商条約に調印
7月19日	1858/_8/27(金)	・ 幕府、ハリスに使節派遣の迎船を要請
8月_8日	1858/_9/14(火)	・ 孝明天皇、水戸藩等に密勅下す
8月 [1858/9/7~10/6]		・ 咸臨丸、長崎海軍伝習所休講で築地の軍艦操練所所属に
8月23日	1858/_9/29(水)	・ 外国奉行水野忠徳・永井尚志らを遣米使節に任命
8月24日	1858/_9/30(木)	・ ハリス、鵬翔丸にて江戸から下田へ戻る
8月30日	1858/10/_6(水)	・ 水野忠徳・永井尚志らが「亜墨利加国へ別船仕立之儀申上候書」にて別船派遣を上申
9月_3日	1858/10/_9(土)	・ エド号(⇒朝陽丸)長崎到着／咸臨丸と同型姉妹艦
9月_4日	1858/10/10(日)	・ 下田奉行井上信濃守ら、鵬翔丸にて江戸から下田へ赴任
10月_5日	1858/11/10(水)	・ 肥前藩発注ナガサキ号(⇒電流丸)長崎到着／咸臨丸の同型姉妹艦
10月16日	1858/11/21(日)	・ 咸臨丸長崎出港、朝陽丸と共に平戸・福岡巡航(7日間)
10月22日	1858/11/27(土)	・ 長崎帰港
10月25日	1858/11/30(火)	・ 徳川家茂将軍就任
11月16日	1858/12/20(月)	・ 西郷隆盛・僧月照入水
11月24日	1858/12/28(火)	・ ハリス、批准書交換延期に同意。

---

## 安政6年

1月_6日	1859/_2/_8(火)	・ 艦長候補伝修生勝麟太郎、朝陽丸にて江戸へ出発
2月15日	1859/_3/19(土)	・ 外国奉行とハリスとの会談にて、1860年2月22日を使節出発日と定め、それ以前に他国へ使節を派遣しないことを同意。
4月16日	1859/_5/18(水)	・ 長崎海軍伝習所、最終講義⇒閉鎖
5月26日	1859/_6/26(日)	・ 英国領事オールコック着任
6月_2日	1859/_7/_1(金)	・ 横浜・長崎・函館開港
7月27日	1859/_8/25(日)	・ 水野忠徳、外国奉行から転任
8月26日	1859/_9/22(木)	・ 幕府、日仏修好通商条約に調印
8月27日	1859/_9/23(金)	・ 岩瀬忠震・永井尚志ら一橋派幕吏処罰
9月13日	1859/10/_8(土)	・ 新見正興ら、新たに遣米使節に任命される
11月18日	1859/12/11(日)	・ 派遣候補船を朝陽丸から観光丸に変更
11月23日	1859/12/16(金)	・ 遣米使節乗艦ポーハタン号の護衛随伴艦として観光丸派遣を決定
11月24日	1859/12/17(土)	・ 木村喜毅、井伊大老の前で遣米使節として別船で米国派遣を命じられる。 ・ 直ちに別船乗船者人選を行い、軍艦操練所の教授方などへ乗組を命じた。
11月25日	1859/12/18(日)	・ 勝教授方頭取、乗艦メンバーへ船内規則等を示し、激励
11月28日	1859/12/21(水)	・ 木村喜毅、軍艦奉行を命じられ、従五位下摂津守に叙せられる。 ・ ポーハタン号、横浜入港 ・ 咸臨丸、長崎より横浜入港
12月20日	1860/_1/12(木)	・ 外国奉行・軍艦奉行・目付などが蟠竜丸で神奈川へ赴き、使節一行出帆日時などを協議 ・ ドール米領事・測量船長ブルックより別船のスクリュウ船への変更を申出
12月24日	1860/_1/16(月)	・ 朝陽丸が長崎へ向けて出帆中であり、長崎から戻った咸臨丸への変更が確定
12月25日	1860/_1/17(火)	・ 咸臨丸、横浜から品川へ回航

---

## 安政7年

1月13日	1860/_2/_4(土)	<ul style="list-style-type: none"><li>咸臨丸、品川出帆、横浜着</li></ul>
1月15日	1850/_2/_6(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>ブルック大尉ら米軍人11名咸臨丸乗船咸臨丸、</li><li>横浜出帆、浦賀着</li></ul>
1月18日	1860/_2/_9(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>幕府遣米使節77名が米軍艦ポーハタン号にて品川出帆、横浜着</li></ul>
1月19日	1860/_2/10(金) 【米国:2/9木】	<ul style="list-style-type: none"><li>咸臨丸、浦賀出帆</li></ul>
1月22日	1860/_2/13(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>ポーハタン号、横浜出帆</li></ul>
2月26日	1860/_3/18(日) 【米国:3/17土】	<ul style="list-style-type: none"><li>咸臨丸、サンフランシスコ入港</li><li>ブルック大尉・佐々倉桐太郎・濱口興右衛門・吉岡勇平・中濱万次郎ら上陸</li></ul>
2月27日	1860/_3/19(月) 【米国:3/18日】	<ul style="list-style-type: none"><li>サンフランシスコ市長・属官来訪・乗船</li></ul>
2月28日	1860/_3/20(火) 【米国:3/19月】	<ul style="list-style-type: none"><li>米陸軍提督ヘーブン以下士官15名来訪・乗船</li></ul>
3月_2日	1860/_3/23(金) 【米国:3/22木】	<ul style="list-style-type: none"><li>サンフランシスコ市長主催歓迎会</li></ul>
3月_3日	1860/_3/24(土) 【米国:3/23金】	<ul style="list-style-type: none"><li>源之助、未明に死去。25歳、塩飽広島青木浦出身水主</li><li>咸臨丸、メアアイランド米海軍工廠へ回航</li><li>桜田門外の変</li></ul>

3月_4日	1860/_3/25(日) 【米国:3/24土】	<ul style="list-style-type: none"> <li>源之助、ローレルヒルの墓地に埋葬</li> </ul>
3月_9日	1860/_3/30(金) 【米国:3/29木】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポーハタン号、サンフランシスコ入港、咸臨丸を探し、直ちにメアアイランドへ向かう。</li> <li>富蔵、昼頃死去。ローレルヒルの源之助の墓地の右手に埋葬、塩飽佐柳島出身水主</li> </ul>
3月11日	1860/_4/_1(日) 【米国:3/31土】	<ul style="list-style-type: none"> <li>遣米使節一行がサンフランシスコ市長の招きで木村摂津守と共にサンフランシスコへ移動</li> </ul>
3月12日	1860/_4/_2(月) 【米国:4/1日】	<ul style="list-style-type: none"> <li>遣米使節一行と木村摂津守らがサンフランシスコ市長主催の日本修好大使歓迎会に参加</li> </ul>
3月13日	1860/_4/_3(火) 【米国:4/2月】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブルック大尉ら11名との別れ。メアアイランドから故郷へ出発。</li> </ul>

## 万延元年

3月18日	1860/_4/_8(日) 【米国:4/7土】	<ul style="list-style-type: none"> <li>改元</li> <li>ポーハタン号、サンフランシスコ出帆パナマへ</li> </ul>
閏3月_9日	1860/_4/29(日) 【米国:4/28土】	<ul style="list-style-type: none"> <li>咸臨丸、修理完了&lt;40日を要した&gt;</li> </ul>
閏3月11日	1860/_5/_1(火) 【米国:4/30月】	<ul style="list-style-type: none"> <li>咸臨丸、乗組員一同乗船</li> </ul>
閏3月19日	1860/_5/_9(水) 【米国:5/8火】	<ul style="list-style-type: none"> <li>咸臨丸、朝8時10分に祝砲が轟く中をサンフランシスコ出帆</li> </ul>



閏3月25日	1860/_5/15(火) 【米国:5/14月】	・ 遣米使節、ワシントン到着
閏3月28日	1860/_5/18(金) 【米国:5/17木】	・ 遣米使節、ホワイトハウス訪問
4月_1日	1860/_5/21(月) 【米国:5/20日】	・ 峯吉、死去。ローレルヒルの墓地に埋葬、長崎出身火焚
4月_3日	1860/_5/23(水) 【米国:5/22火】	・ 遣米使節、国務長官と批准書交換
4月_4日	1860/_5/24(木) 【米国:5/23水】	・ 咸臨丸、ホノルル寄港
4月_7日	1860/_5/27(日) 【米国:5/26土】	・ 咸臨丸、ホノルル出港
5月_5日	1860/_6/23(土)	・ 咸臨丸、浦賀に帰着
5月_6日	1860/_6/24(日) 【米国:6/23土】	・ 遣米使節、ニューヨークよりナイアガラ号(喜望峰回り)で帰途に着く ・ 咸臨丸、品川沖に帰着。 ・ その後、神奈川港警備につき、江戸横浜間を頻繁に往復
6月17日	1860/_8/_3(金)	・ 幕府、日葡修好通商条約に調印
7月25日	1860/_9/10(月)	・ 鵬翔丸、下田の大浦沖で座礁沈没
9月27日	1860/11/_9(金)	・ 遣米使節、品川沖に帰着
12月_5日	1861/_1/15(火)	・ 米通訳ヒュースケン襲撃暗殺

---

## 万延2年

2月\_3日 1861/\_3/13(水) ・ 露軍艦、対馬に来航・上陸

---

## 文久元年

2月19日 1861/\_3/29(金) ・ 改元

2月〔1861/3/11~4/9〕 ・ 咸臨丸、幕命により対馬派遣

咸臨丸、江戸引上げで対馬出発。引上げ途中で機関故障となり、帰還後、機関修理目的で長崎へ。

5月15日 1861/\_6/22(土) ・ 江戸へ戻るのは5ヵ月後の10月。

8月25日 1861/\_9/29(日) ・ 露軍艦、対馬を去る

11月\_5日 1861/12/\_6(金) ・ 米公使ハリス、将軍家茂と会見

12月\_3日 1862/\_1/\_2(木) ・ 咸臨丸、幕命による小笠原派遣で品川出帆

12月19日 1862/\_1/18(土) ・ 咸臨丸、小笠原諸島父島着

12月23日 1862/\_1/22(水) ・ 幕府遣欧使節団出発

---

## 文久2年

2月10日 1862/\_3/10(月) ・ 咸臨丸、小笠原諸島母島探検

幕府遣欧使節団、パリ到着

3月\_9日 1862/\_4/\_7(月) ・ 咸臨丸、小笠原諸島父島出帆

3月16日 1862/\_4/14(月) ・ 咸臨丸、機関故障で下田入港

3月24日 1862/\_4/22(火) ・ 坂本龍馬脱藩

4月23日 1862/\_5/21(水) ・ 寺田屋事件

6月18日	1862/_7/14(月)	・ 咸臨丸、オランダ留学生を乗せて品川出帆、浦賀入港
6月24日	1862/_7/20(日)	・ 咸臨丸、浦賀出港、機関故障で下田入港
8月_2日	1862/_8/26(火)	・ 咸臨丸、下田出港、志州国的矢浦入港
8月_8日	1862/_9/_1(月)	・ 咸臨丸、的矢浦出港
8月13日	1862/_9/_6(土)	・ 咸臨丸、塩飽本島着
8月14日	1862/_9/_7(日)	・ 咸臨丸、塩飽本島出帆
8月15日	1862/_9/_8(月)	・ 咸臨丸、長門国上関着
8月21日	1862/_9/14(日)	・ 生麦事件
8月23日	1862/_9/16(火)	・ 咸臨丸、長崎着
閏8月_1日	1862/_9/24(水)	・ 松平容保、京都守護職に任命
閏8月29日	1862/10/22(水)	・ 咸臨丸、長崎出港
9月11日	1862/11/_2(日)	・ オランダ留学生、オランダ商船カリプス号で長崎を出発
9月17日	1862/11/_8(土)	・ 咸臨丸、品川着
9月21日	1862/11/12(水)	・ 朝廷、攘夷を決定
11月_2日	1862/12/22(月)	・ 幕府、勅旨攘夷を決定

## 文久3年

3月13日	1863/_4/30(木)	・ 新撰組、壬生で結成
	1863/_6/_2(火)	・ オランダ留学生、ロッテルダム到着／現地時間の日付です。
5月10日	1863/_6/25(木)	・ 長州藩、関門海峡通過中の米商船を砲撃

5月23日	1863/_7/_8(水)	・ 長州藩、関門海峡通過中の仏軍艦を砲撃
5月26日	1863/_7/11(土)	・ 長州藩、関門海峡通過中の蘭軍艦を砲撃
6月_1日	1863/_7/16(木)	・ 米軍艦、下関報復攻撃、長州藩敗北
6月_4日	1863/_7/19(日)	・ 仏軍艦、下関報復攻撃、長州藩砲台占領
6月27日	1863/_8/11(火)	・ 英艦隊、錦江(鹿児島)湾に到着
7月_2日	1863/_8/15(土)	・ 薩英戦争

---

## 文久4年

## 元治元年

2月20日	1864/_3/27(日)	・ 改元
5月21日	1864/_6/24(金)	・ 神戸海軍操練所発足
7月19日	1864/_8/20(土)	・ 禁門(蛤御門)の変

---

## 元治2年

## 慶応元年

4月_7日	1865/_5/_1(月)	・ 改元
9月27日	1865/11/15(水)	・ 横須賀製鉄所起工

---

## 慶応2年

1月21日	1866/_3/_7(水)	・ 薩長同盟成立
1月23日	1866/_3/_9(金)	・ 坂本龍馬、寺田屋で襲撃される
1月20日	1866/_8/29(水)	・ 将軍家茂死去
12月_5日	1867/_1/10(木)	・ 徳川慶喜将軍就任
12月25日	1867/_1/30(水)	・ 孝明天皇崩御

---

## 慶応3年

1月_5日	1867/_2/_9(土)	・ 徳川昭武ら遣欧使節出発
3月_7日	1867/_4/11(木)	・ 遣欧使節、パリ到着
3月26日	1867/_4/30(火)	・ 開陽丸、江戸到着
6月15日	1867/_7/16(火)	・ 坂本龍馬、船中八策を起草
11月15日	1867/12/10(火)	・ 坂本龍馬暗殺
12月_9日	1868/_1/_3(金)	・ 王政復古の号令

---

130120追記

## 慶応4年

1月_3日	1868/_1/27(月)	・ 鳥羽・伏見の戦い
1月_6日	1868/_1/30(月)	・ 徳川慶喜、開陽丸にて大坂脱出
3月13日	1868/_4/_5(日)	・ 勝・西郷、江戸開城交渉
3月14日	1868/_4/_6(月)	・ 江戸無血開城、五箇条の御誓文

3月28日	1868/_4/20(月)	・ 神仏分離令	
4月25日	1868/_5/17(日)	・ 近藤勇処刑	
5月_3日	1868/_6/22(月)	・ 奥州列藩同盟	
7月29日	1868/_9/15(火)	・ 長岡城、新政府軍に陥落	
8月19日	1868/10/_4(日)	・ 旧幕府脱走軍、江戸脱走。回天丸が咸臨丸を曳航	
8月20日	1868/10/_5(月)	・ 咸臨丸、座礁、離礁後に浦賀沖で仮泊	
8月21日	1868/10/_6(火)	・ 咸臨丸、回天丸の曳航で浦賀沖を出発	
8月22日	1868/10/_7(水)	・ 咸臨丸、回天丸との曳航綱が切れて漂流状態にメインマストを切り倒して安定確保。下田入港	091231追記
8月23日	1868/10/_8(木)	・ 咸臨丸、清水を目指して下田出港するが、悪天候で下田に戻る。	
8月24日	1868/10/_9(金)	・ 新政府軍、会津城下総攻撃	
8月24日	1868/10/_9(金)	・ 蟠竜丸、下田入港	
8月26日	1868/10/11(日)	・ 旧幕府脱走軍、長鯨丸が寒風沢着	
8月27日	1868/10/12(月)	・ 旧幕府脱走軍、開陽丸が寒風沢着	
8月27日	1868/10/12(月)	・ 明治天皇即位	
8月30日	1868/10/15(木)	・ 咸臨丸、蟠竜丸曳航で下田出港	
9月2日	1868/10/17(土)	・ 咸臨丸、蟠竜丸曳航で清水入港	
9月5日	1868/10/20(火)	・ 旧幕府脱走軍、千代田形と神速丸が寒風沢着	

---

## 明治元年

9月_8日	1868/10/23(金)	・ 改元
9月15日	1868/10/30(金)	・ 旧幕府脱走軍、回天丸が寒風沢着 ・ 旧幕府脱走軍、蟠竜丸が寒風沢着
9月18日	1868/11/_2(月)	・ 新政府軍の脱走艦隊追捕艦隊の富士山丸が白旗を掲げた咸臨丸を砲撃。 ・ 咸臨丸は新政府軍に曳航されて清水港を去る。
9月22日	1868/11/_6(金)	・ 会津藩降伏
10月11日	1868/11/24(火)	・ 南部藩降伏、東北戦争終結
10月12日	1868/11/25(水)	・ 旧幕府脱走軍、寒風沢出港、出島経由で宮古へ ・ 旧幕府脱走軍、気仙沼港碇泊中の千秋丸を拿捕 ・ 旧幕府脱走軍、宮古湾入り
10月13日	1868/11/26(木)	・ 江戸が東京と改められ、江戸城が皇居と定められた ・ 明治天皇、皇居入り
10月17日	1868/11/30(月)	・ 旧幕府脱走軍、宮古湾出港
10月20日	1868/12/_3(木)	・ 旧幕府脱走軍、蝦夷地噴火湾鷲ノ木着
10月25日	1868/12/_8(火)	・ 旧幕府脱走軍、五稜郭占領
11月15日	1868/12/28(月)	・ 旧幕府脱走軍、開陽丸が江差沖で座礁

---

## 明治2年

3月25日	1869/_5/_6(金)	・ 宮古湾の戦い	
5月11日	1869/_6/20(日)	・ 土方歳三戦死	
5月18日	1869/_6/27(日)	・ 旧幕府脱走軍降伏、五稜郭開城	
7月_8日	1869/_8/15(日)	・ 開拓使庁設置<東京>	091231追記
9月30日	1869/11/_3(水)	・ 開拓使出張所(函館)開設	091231追記
10月15日	1869/11/19(金)	・ 咸臨丸、浦賀番所での修理が終わり、兵部省管轄から開拓使に移管される。昌平丸も移管された。	
10月19日	1869/11/22(月)	・ 咸臨丸、開拓使運搬船として箱館へ向け品川出港<本州北海道間定期航路の始まり>	
		・ 加納次郎作(回漕取扱業者)による官物輸送が始まるが、八戸県への救助米運搬が初仕事となった。	
12月25日	1870/_1/26(水)	・ 東京・横浜間に電信開通	

---

## 明治3年

6月22日	1870/_7/20(水)	・ 仙台藩片倉邦憲家臣団が白石を出立。寒風沢から咸臨丸か長鯨丸か庚午丸のいずれかが使用されたのは明らか。	
-------	---------------	--	--

---

## 明治4年

2月上旬(1871/3月下旬)		・ 咸臨丸、上総国興津沖で暴風雨により座礁・損傷	
3月21日	1871/_5/10(水)	・ 上総国興津で修復の咸臨丸が品川入港	091231追記
5月_5日	1871/_6/22(木)	・ 木村万平、咸臨丸運用に際して横浜運上所へ検印願提出	091231追記
5月31日	1871/_6/22(木)	・ 木村万平、咸臨丸運用改革ならびに函館航海届出	091231追記
8月23日	1871/10/_7(土)	・ 咸臨丸、寒風沢へ向け品川出帆	



9月_4日	1871/10/17(火)	・ 咸臨丸、寒風沢着	091231追記
9月12日	1871/10/25(水)	・ 咸臨丸、片倉小十郎家臣団401名を乗せ、小樽へ向けて寒風沢出帆	
		・ 咸臨丸、航海中に妊婦死亡の為、函館へ進路変更	091231追記
9月17日	1871/10/30(月)	・ 咸臨丸、函館寄港	
		・ 咸臨丸、函館出帆	
9月20日	1871/11/_2(木)	・ 更木岬(木古内釜谷村)沖の暗礁に乗り上げる	
9月25日	1871/11/_7(火)	・ 咸臨丸、水没／開拓使、咸臨丸を放棄。	
11月12日	1871/12/23(土)	・ 岩倉具視欧米視察団出発	

---

## 明治5年

9月12日	1872/10/14(月)	・ 新橋・横浜間で鉄道営業開始	
11月_9日	1872/12/_9(月)	・ 太陽暦採用を布告	

---

## 明治6年

1873(明治6)年_1月_1日(水)	・ 和暦の明治5年12月3日を太陽暦採用により明治6年1月1日とした。	091231追記
---------------------	-------------------------------------	----------

---

## 明治15年

1882(明治15)年_2月_8日	・ 開拓使廃止	091231追記
-------------------	---------	----------

---